

奥州3名湯

飯坂温泉 いひざか



飯坂温泉の歴史は縄文時代まで遡ります。

紀元前 3000 年頃、摺上川(すりかみかわ)の支流の小川が、飯坂温泉の南を流れており、小川と飯坂街道が交差する月崎(つきさき)に縄文人が住んでいました。7世紀頃、日本武尊が東夷東征の際、病にかり、「佐渡子湯」に浸かった所たすまず元気になった。とされています。

また、世に知れ渡るようになったのは江戸時代中期の享保年間頃からで、中でも松尾芭蕉の奥の細道の中で、「飯塚(芭蕉は奥の細道において飯坂のことを飯塚と記しています)」として記され、地名度を浸透させたようです。

江戸時代中期に松尾芭蕉と弟子の河合曾良が宿泊した地として有名です



飯坂温泉 沿線マップ



源泉温度 60℃

ヘルニアに効く共同浴場

仙気の湯

駅から一番近く利用しやすい共同浴場

導専の湯

土地の地名から名付けられた共同浴場

十網橋から見える景観は
とても印象的！

JR福島駅から、飯坂線
だと25分で行けます

至 福島駅

福島交通飯坂線

摺上川

飯坂温泉駅

波来湯

鯖湖湯

飯坂温泉で一番古い
共同浴場

八幡の湯

大門の湯